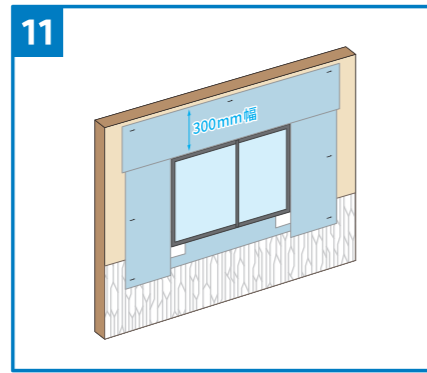
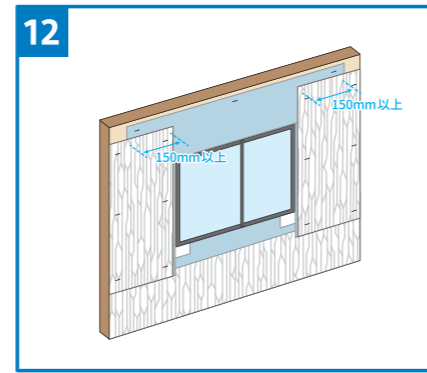


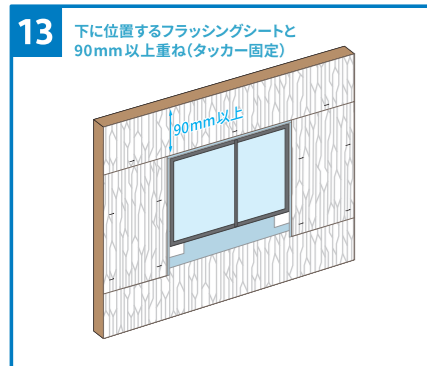
10 両面防水テープの剥離紙を剥がし、フラッシングシートを施工します。左右に施工された両面防水テープ及びタッカーにて固定します。



11 サッシ上部へもフラッシングシートを施工します。



12 フラッシングシートの上からドレインラップを施工します。下にあるフラッシングシートとの重なりは150mm以上とし、タッカーで固定します。



13 サッシ上部へもタイベック®ドレインラップを施工します。下に位置するフラッシングシートとの重なりは90mm以上とし、タッカーで固定し完了です。

■規格

名称	サイズ／梱包単位
デュポン™タイベック®ドレインラップ	幅1,000mm×長さ50m巻

⚠ 取扱注意事項

- 当商品は長期間、直射日光のあたる場所に放置しないでください。
- 施工後は、60日以内に外装材施工を終了してください。
- 当商品は、透湿・防水シートとしてのみ使用してください。
- 当商品は、滑りやすいので、上に乗らない様にしてください。
- 当商品は、火及び高熱によって溶けたり燃えることがありますので、火や高熱物を近づけないでください。
- 当商品の施工にあたっては、当社が提供するデュポン™タイベック®標準施工要領に従い適切に施工してください。
- 当商品を取り扱う際には、手を切らないように御注意ください
- 当商品を使用して施工した場合でも、工法等により結露する場合があります。

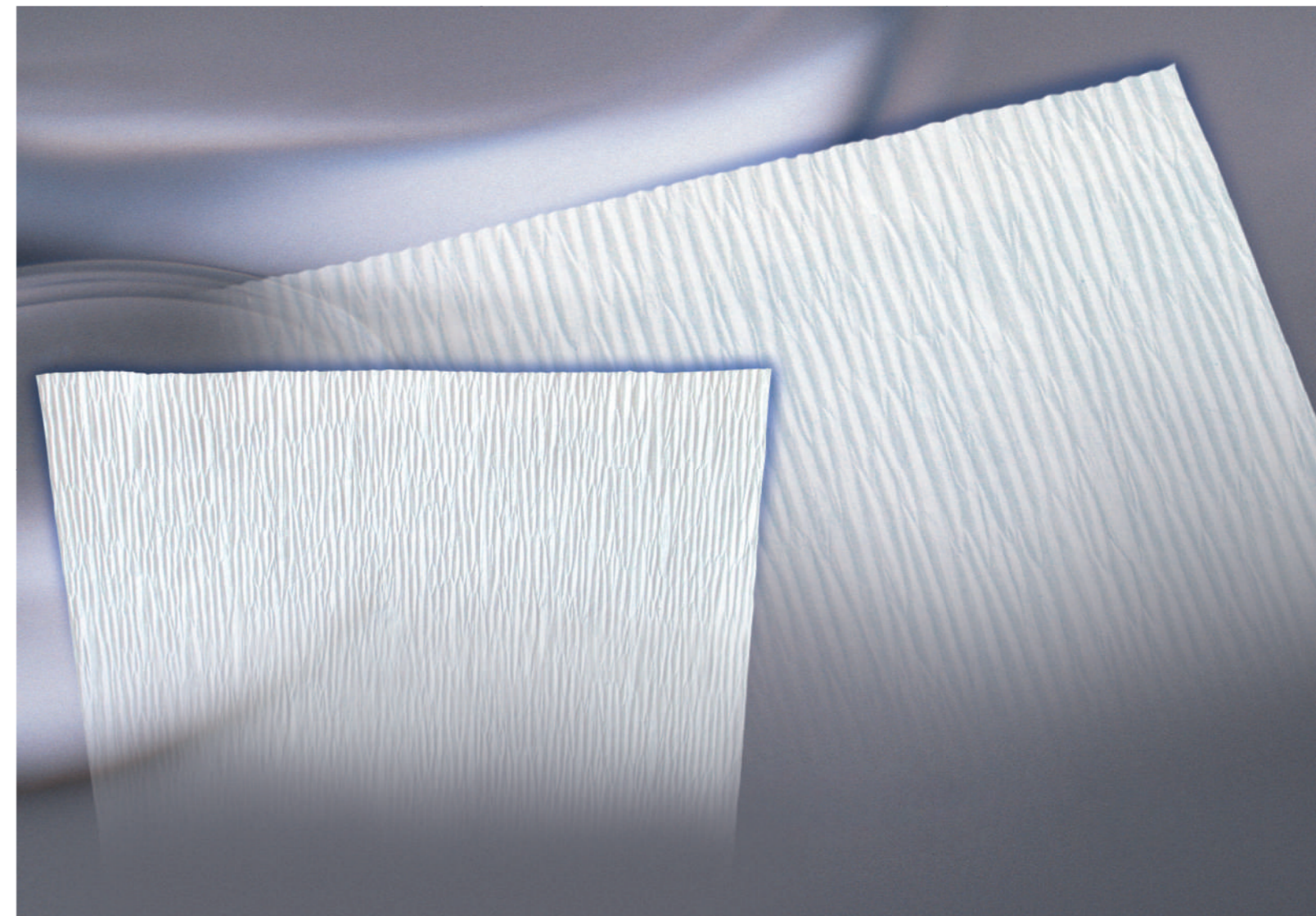
⚠ 警告

- 滑落の危険性がありますので屋根用には、使用しないでください。

- 物性値、仕様及び標準寸法は、予告なく変更させていただく事があります。
- 本カタログの内容についてのお問い合わせは、当社に直接お尋ね下さい。

排水機能付き 透湿・防水シート

デュポン™ タイベック® ドレインラップ



デュポン™タイベック®総輸入販売元
旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ 株式会社

〒100-6111 東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー

URL <https://www.tyvek.co.jp/>

☎0120-300355 E-mail: Tyvek.Japan@dupont.com

デュポン™、デュポンオーバル・ロゴ、および™、SM、又は®表示のあるすべての標章は、別段の記載がない限り、DuPont de Nemours, Inc. の関連会社の商標又は登録商標です。ストレッチガード®は、旭・デュポンフラッシュスパン プロダクツ株式会社の登録商標です。

Copyright ©2021 DuPont-Asahi Flash Spun Products Co.,Ltd. All rights reserved.

排水機能付き 透湿・防水シート | 施工用途 窓廻り

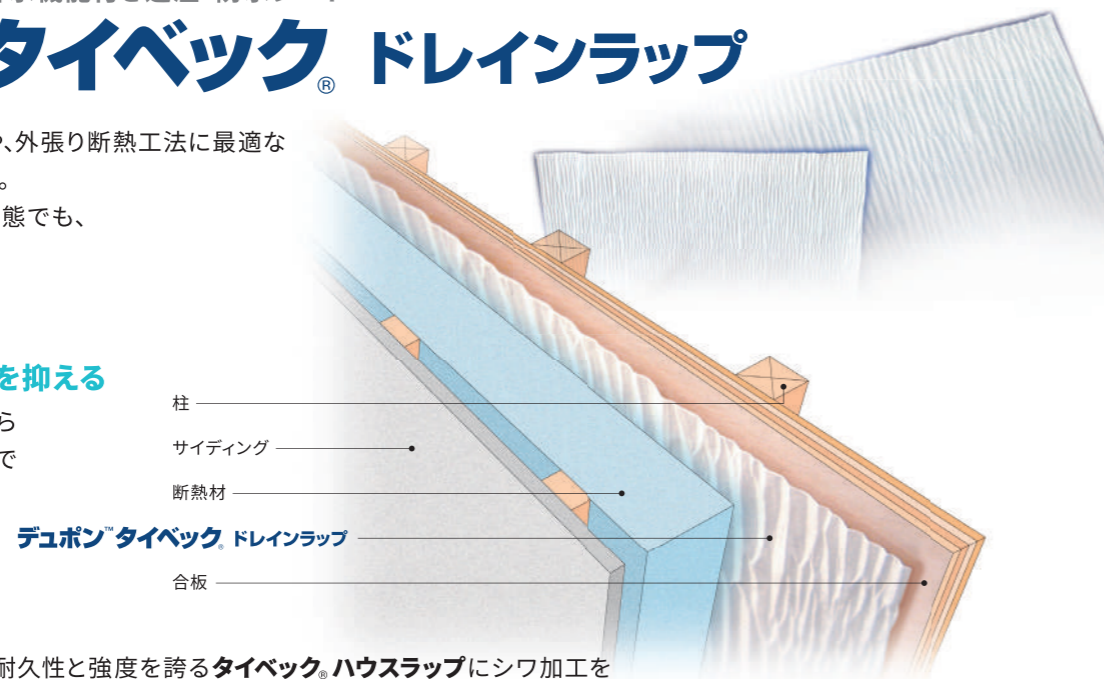
窓廻りの防水強化に有効な排水機能付き透湿・防水シート

デュポン™ タイベック® ドレインラップ

タイベック®ドレインラップは横胴縁や、外張り断熱工法に最適な排水機能付きの透湿・防水シートです。胴縁やウレタンフォームが密着した状態でも、表面のシワ加工が排水を促進します。

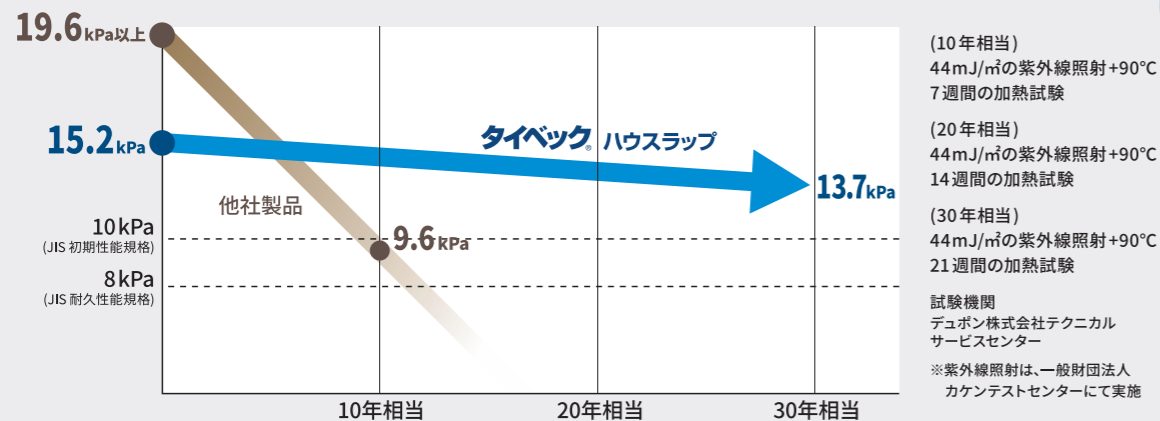
外張り断熱住宅の雨水の浸入を抑える

外張り断熱材のジョイント部分等から雨水が浸入した場合、独自のシワ加工で排水を促進させます。



タイベック®ドレインラップは、抜群の耐久性と強度を誇るタイベック®ハウスラップにシワ加工を施し排水機能を付加したものですので、基本性能はタイベック®ハウスラップと同様です。

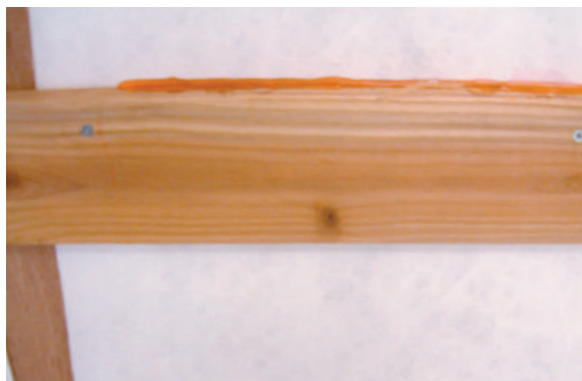
■ タイベック® ハウスラップ 30年相当耐久性試験結果



横胴縁(縦張りサイディング)施工時の雨水の浸入防止に貢献

横胴縁を施工したタイベック®ドレインラップに着色水を流し込み、排水状況を確認しました。

従来のタイベック®ハウスラップ



胴縁に水が溜まり、浸水の原因になる恐れがあります。

タイベック®ドレインラップ



シワの隙間から排水されます。

窓廻り 防水強化 施工手順

デュポン™タイベック®シリーズで販売しているフラッシングシートやストレッチガード®を併用し、タイベック®ドレインラップを窓廻りへ施工する際の施工手順を解説致します。独自のシワ加工によって排水機能を持つ透湿・防水シートタイベック®ドレインラップは、外張り断熱や横胴縁を採用する壁構造に対して有効な製品です。

開口部での施工について

■ 使用部材

- ・タイベック®ドレインラップ
- ・ストレッチガード®一般部用
- ・タイベック®ハウスラップテープ 両面プチル 75mm幅
- ・タイベック®フラッシングシート 300mm幅

窓廻りの防水強化 施工手順

- フラッシングシートを窓台へ施工します。開口部左右より、それぞれ150mm以上確保してください。また、開口窓台を全て覆うことができるようにしてください。
- 後からタイベック®を差し込むことができるような位置にタッカーで留め付け左右の開口側部に沿ってフラッシングシートをカットし、開口窓台へカットされた部分を倒します。
- 窓台部分へタッカー留めする場合はストレッチガード®で覆われる部分にのみ打ち込みます。

※ 水平部へタッカーやビスを打ち込む恐れがある場合はプチルテープなどを捨て貼りしておいてください。
- ストレッチガード®を施工します。剥離紙の大きい方を剥がし窓台角部へ圧着します。
- ストレッチガード®の残りの剥離紙を取り、立ち下げます。
- 窓枠立ち上がりの木部とプチルが接着することで水密性が高まります。
- サッシをメーカーの施工要領に従って取り付けてください。
- 両面防水テープをサッシフランジに貼り付けます。順番は両端(①、②)を先に貼り、最後に上部(③)を貼り付けます。

上部へ突き抜けない
- フラッシングシートの下にタイベック®ドレインラップを差し込むように入れます。

窓台水切りシートの下に差し込むように入れます。

コーナー中心部から外側へ向かって伸ばしながら貼ります。貼り付け後、完全に密着していることを確認します。

フラッシングシートの下にタイベック®ドレインラップを差し込むように入れます。窓台水切りシートの下に差し込むように入れます。フラッシングシートとタイベック®ドレインラップの重なりは90mm以上とします。